



■新名簿の発刊に着手

第十二代山田辰明学校長ご就任

月日会々長 田 中 博 隆 (6期生)

名簿会長として5年という永き

にわたって月日会活動を盛り上

げて下さいました。更に五十周

年に向けての準備を開始した矢

先のこと、胸中いかに無念で

あつたことかと察するに余りあ

ります。

日ごろより月日会活動にご協

力頂き厚くお礼申し上げます。

今年度の会報発行に際し、先

ず第一番にご報告しなければな

りませんことは、家入正男(1

期生)名誉会長のご逝去であり

ます。かねてより病気療養中で

したが、今春三月二十九日帰ら

ぬ人となられました。ここに謹

んでご冥福をお祈り申し上げま

す。

家入さんは、会長として12年、

一期生としての「パイオニア・

スピリット」を私たちに伝えて

くれました。その精神を受け継

ぎ、必ずや月日会五十周年の記

念行事を成功させご恩に報いた

いと思います。

さて、五十周年の記念行事を

いよいよ来秋に控え、具体的活

動に入っています。一期から

五十期の準備委員や、サークル

等の代表の方に活動のお願いを

し上げます。

(追悼句)

いさぎよき死出の旅路の花吹雪

散り急ぐ花のあれかし性ゆえに

花万朵剛氣の笑みの野辺送り

学び舎のえにしの糸のあなたたかき

弦生尽遺志継ぐ者の幾世代

鈴木洋子
(11期生・旧姓阿部)



発行所
都立田園調布高等学校
同窓会月日会
東京都大田区田園調布南27-1
電話 03(3750)4346
発行人 田中博隆
編集責任者 千本江俊

おもな内容

- 飯田利行先生 九十一年になられ ますますお元気!!
- 月日会五十周年記念総会 日程決まる!!

月日会新名簿(2001年10月発行)
の申し込みを受け付けます

50周年記念事業として「月日会新名簿」を同封しましたので、会報を予定して編集作業に着手しました。会報に調査力「D」を同封しましたので、「月日会新名簿」として、ご返送下さいますようにお願い致します。名簿の購入予約をいたいたいた会員、協賛のお申込をお問い合わせましたので、お闇送えになりましたようお願いします。

月日会50周年記念事業の環として、名簿発刊にご理解・支援をお願い申し上げます。

月日会会員のみなさまへ

東京都立田園調布高等学校 校長 山田辰明



去る四月七日(土)母校の体育館に於いて五十二期生の入学式が厳粛に行われました。担任の先生による入学許可者の呼名に続き、山田辰明新校長の力強く精悍な式辞が述べられ、会場は凜とした空気で包まれました。まだどことなく幼させんか。

新名簿の発行にも着手したところです。調査カードを同封しましたので、ご協力をよろしくお願い致します。記念号として、50周年の歴史をまとめる予定です。

第12代吉田秀男校長先生がご退任されました。母校五十周年記念行事を共に開催できましたことを喜んでおります。田高ホームページのこと等、月日会活動には多大なご理解をいただき誠にありがとうございました。

そしてこの度第13代山田辰明校長先生がご就任されました。

誠にありがとうございました。

家入先生は田高を愛し続けて、

一期生としての「パイオニア・

スピリット」を私たちに伝えて

くれました。その精神を受け継

ぎ、必ずや月日会五十周年の記

念行事を成功させご恩に報いた

いと思います。

さて、五十周年の記念行事を

いよいよ来秋に控え、具体的活

動に入っています。一期から

五十期の準備委員や、サークル

等の代表の方に活動のお願いを

し上げます。

山田校長先生の「校長室だよ

り」を月日会情報委員会で「田

高ホームページ」に更新しまし

た。ぜひ「月日会」ホームページ

ジから「田高ホームページ」に

リンクしてご覧下さい。次々と

号を重ねていただけるとの事で楽

しみにしています。

また、32期生の外尾寿哉が数

学科の先生として都立大島高校

から母校に転入され、29期生の

森晋一郎先生(社会)について

ふたり目の月日会出身者となり、

とにかくつないできた半世紀。

節目の時をしつかりやりたいと

思います。会員の皆様にも、年

会費やご寄付を毎年いただき、

ご支援に感謝申し上げております。

幹事一同喜んでおります。

とにかくつないできた半世紀。

幹事一同喜んでおります。

今後共よろしくお願ひ致します。

皆様のご活躍を心よりお祈り申

因縁と思つております。
私の高校進学時の田園調布高校は、新設間もないこともあり、かなり人気が高く、私の出身中学(御園中)からも何人かが入学したのを覚えています。

梅雨明けを前に、六郷用水沿いの緑の陰が一時の涼しさを与えてくれるようになりました。

月日会会員の皆様におかれましてはますますご清祥のことと

拝察申し上げます。そして皆様

からは日頃から本校の教育活動にご支援とご協力をいただき改めて御礼申し上げます。

挨拶が遅れましたが、吉田秀

男校長の後を受けまして、4月1日付で十三代校長として着任いたしました山田辰明です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

月日会の皆様には、今後とも

ご支援のほど切にお願い申し上

げて、着任のご挨拶とさせてい

ただきます。

去る四月七日(土)母校の体育館に於いて五十二期生の入学式が厳粛に行われました。担任の先生による入学許可者の呼名に続き、山田辰明新校長の力強く精悍な式辞が述べられ、会場は凜とした空気で包まれました。まだどことなく幼さ

れました。まだどことなく幼さ

時が経つのは早いもので、僕が田高の門を初めてぐってか

らもう3年以上も経ちました。

「光陰矢のごとし」という言葉がありますが、今になつて高

校時代の3年間を振り返つてみ

ります。

そんな僕も、勉強に本腰をい

れてなかつたせいで大変だった

受験を終え、なんとか無事に大

学へ進学出来ました。

経験者は

かく語りきと言いますか、先輩

すれば予習と復習の大切さと、

志望校・学科の早期決定です。

話は逸れましたが、大学へ入

ると、どうしても高校時代の友

人はとは縁遠くなってしまうもの

らしいです。やはり、みんなが

集まる場所の存在は、非常に大

きなものみたいです。お互に

声でも掛け合わない限り、仲の

後輩の



飯田利行先生
昭和27年~40年
国語科

名物先生訪問

になりました。

司会・先生の教育の指針は?

飯田・教育は先生と生徒の出逢いがすべてです。家庭の事情とかすべて知つてから、作文を通して生徒の気持を知り、将来こうして欲しいという私の希望・期待を伝えました。私の寺に来て座禅をしたいという者も居て、私が出勤する前に毎日寺に来て一緒に座禅をして、それから学校に通つていた生徒もいました。

司会・先生は49年前の昭和27年に田高に赴任して、40年まで13年間教壇に立たれましたが、印象に残つてゐる事はありますか。

飯田・私は今年91歳になりますが田高での13年間は、私の人生で一番思い出深い時期でした。戰後、爆撃で穴だらけの寺を住職として引き受け、経済的にも苦しい時でした。持つていたほとんどの本を売つてお金を作り、バラックを建ててスタートさせました。

司会・お寺の住職さんがまた、なぜ田高の教師になつたのですか。

飯田・最初は経済的理由で、先輩である都の教育者に頼み、その口ききで田高に赴任しました。

当時(東都知事時代)都立高校の教師の待遇は国立の大学教授よりも良かったのを覚えていま

す。

司会・田高ではどんな想いで生徒に接してこられましたか。

飯田・進学とか就職とか人生の道が決まらない前にいろいろない影響をまわりから受けてほしいという思いが強かつたですね。

司会・田高ではどんなん想いで生徒を希望しましたね。

飯田・当時は、今もそうですが、文部省は学校をあげて進学熱をあおり、高校では就職組・進学組と分けて指導するのは差別ではないかと。その方針に反発する気持がありましたから。その辺からの学校教育の間違いが今

の若者・17歳の問題にもつながつてきていてると思ってます。

それで、田高の就職指導の主任

が、田高の教育の間違が今困った人の為に自分の身を捨ててもいいという忠治の気概にいたく胸をうたれましたね。

司会・先生の教育の指針は?

飯田・教育は先生と生徒の出逢いがすべてです。家庭の事情とかすべて知つてから、作文を通して生徒の気持を知り、将来こうして欲しいという私の希望・期待を伝えました。私の寺に来て座禅をしたいという者も居て、私が出勤する前に毎日寺に来て一緒に座禅をして、それから学校に通つていた生徒もいました。

司会・先生の子供時代、若い頃はどんなだったのでしょうか。

飯田・私は群馬県に生まれて、明治10年に開校した群馬県で一番古い前橋中学に通いました。

司会・お寺の住職さんがあつた寺に小僧に出されて修業をしな

か。

司会・かつての生徒として先生の授業の感想はいかがですか。

山口・飯田先生の授業は教科書だけの内容ではなく、☆アンチ

ヨコ☆がないので一生懸命聞か

ないといけない授業でした。ダ

ブルの背広姿はスマートで、こ

ちらも衿を正して授業を受けま

したね。

田中・私は理工系志望だったた

め他の授業中でも数学とかをや

つっていましたが、漢文だけは指

されて読まされるので、予習・

復習を絶対やらなくてはならな

かった。でも、その勉強は僕に

とつてなぜかりラクゼーション

になつて、そのため漢文が好

いになりました。先生は高校の

先生は高校の

司会・さて、先生の現在の心境

やライフワークについてお聞か

せください。

飯田・私は今、曹洞宗の文学全

集を編纂しています。臨済宗に

どうぞ。

司会・では先生、ますますお元

氣でライフワークのお仕事に取

り組んで下さい。今日はありが

とうございます。

司会・田高を卒業してから

オーブン

法眼藏隨聞記

を出版されまし

た。これは田高在職時の生徒の

レポートと、当時を振り返つた

左記の方々の寄稿から成つてい

ます。

がらの学業生活でしたので、自

分の時間がなかつたけれど、剣

道をやつて体も鍛えられました。

群馬県は国定忠治が出た所で、

私は忠治と同門という事になり

ます。困った人の為に自分の身

を捨ててもいいという忠治の気

概にいたく胸をうたれましたね。

司会・先生の夏休みの宿題に

になりました。

飯田・教育は先生と生徒の出逢

いがすべてです。家庭の事情と

かすべて知つてから、作文を通

じて生徒の気持を知り、将来こ

うして欲しいという私の希望・

期待を伝えました。私の寺に来

て座禅をしたいという者も居て、

私はあえて取り上げました。

飯田・私は少年時代を

若かつたし、自分の少年時代を

もう一度やつてゐようで、不

満はなく、楽しく過せました。

司会・先生の夏休みの宿題に

満はなく、楽しく過せました。

態のホームページですが、せつ
かく立ち上げたホームページプロ
ジェクトですので、少しずつ
でもコンテンツを増やすため、
情報委員会で再検討しました。
そこで、作りやすい部分から少
しづつということで、過去の会報
のデータ化を進め、会員の方々が
自由に参照できるようになります。
特に、初期の会報は残り部数
が少なく、気軽に参照でき
る状態ではないため、データ化
を進めることがコンテンツとし
て大きな意味があると考えま
した。

しかし、データ化には、文章
の入力・写真のスキャニング・
レイアウトと、短時間でできる
物ではないため、あいている時
間で作業を進めること、また、
ソフトウェアのライセンス上、

月日会

ホームページについて

涉田裕一（45期生）

レイアウト作業を多人数で同時に実行することが難しいことを考慮しますと、すべての会報を掲載できる状態になるまでにはかなりの時間がかかることが予想されますが、その点はご理解いただきたいと思います。

なお、この原稿を書いている時点では、第20号の会報を作成しているところ、70～80%の進行状況です。この会報が発行される頃に掲載することを目指としています。

・掲示板

ホームページ上に設置してある掲示板ですが、あまり利用されていない状態です。内容にござわらずに、気軽に書き込みをして下さい。

・連絡先変更について

こちらのメール管理のミスにより、変更の確認はがきの発送が止まっている状態でした。こ

月日会ホームページ：
<http://www.tsukihikai.gr.jp>

管理者メールアドレス：
webmaster@tsukihikai.gr.jp

業にも限界があります。会員の皆さんの中にも、すばらしいホームページを作っている方はたくさんいらっしゃると思うますので、「良いアイデアがある」とか、「ホームページ作りに参加しても

今年度はあと2回の会合があります。都立高校が生き残りにかけて動き始めたと言つてもいいと思います。今後も積極的な意見を出していきます。

「いい。」という方がいらっしゃいましたら、掲示板への書き込み、メール、FAXでご連絡下さい。（もちろん、ホームページを作ったことがない方も歓迎いたします。）

また、参加はできない場合も、アイデアだけでも送つて頂ければ助かります。

・募集
引き続き、ホームページ作りをお手伝いしてくださる方を募集しています。情報委員だけでは、ホームページの内容についてのアイデアが偏りがちになつたり、三毛三

最近の学校改革の流れにそつて、今年度からすべての都立高校において学校運営連絡協議会が発足することになりました。これは学校内部の教職員だけでなく外部（地域・PTA・同窓会など）が入り、様々な角度で学校を見つめ直そうという試みです。去る5月25日に第一回の会合がありました。施設見学に続き、学校側から現状と課題について説明があり、各委員の意見交換を行いました。

学校運営連絡協議会発足

与真は、田高小云講堂
九月 ぼろにあ祭への参加(屋
示祭・及びバザー協賛)
三月 卒業生への記念品贈呈
と進めてまいりました。
今回、例年行事に加えて六月
の電話回線・ファックス端末の設
導入、九月のパソコン端末の設
置がありますが、左記事で45期
浅田の説明に有るようにホーム
ページの充実を図るべく、幹事會
会として事業を実施することに
しました。

はじめまして、私が平成12年12月より幹事長になりました。38期の熊谷和巳と申します。

平成12年度の月日会の活動は、四月 新入生への校章の贈呈
六月 電話回線・ファックス端末の導入
七月 会報第21号の発行

幹事会便り

幹事長 熊谷和日
(38期生)

平成
13年
度

平成13年度

他校同窓会事情

平成12年度 会計報告			
収入	支出		
前年度繰越金	2,841,465	幹事会費	311,101
		通信事務費	144,825
		会報発行費	1,880,573
卒業生入会金	1,205,000	名簿編集費	105,000
銀行利息等	1,160	月日会50周年会員登録費	200,000
年会費	1,250,630	月日会50周年記念寄付	433,500
名簿売上	3,600	ぼろにあ祭参加費	135,897
寄付	320,000	卒業生記念品費	70,743
月日会50周年記念寄付	433,500	新入生記念品	67,500
母校50周年記念誌売上	24,000	跡田園開拓布寄付	50,000
		ホームページ作成費	541,631
今年度収入計	3,238,390	今年度支出計	3,940,770
		次年度繰越金	2,139,085
合計	6,070,855	合計	6,070,855

亞成13年度 孟簷案

平成15年度予算表			
収入	支出		
前年度繰越金	2,139,085	幹事会費	400,000
		通信事務費	150,000
		会報発行費	1,900,000
卒業生入会金	1,200,000	名簿編集費	120,000
銀行利息等	915	月会50周年記念準備費	200,000
年会費	1,400,000	月会50周年記念寄付	400,000
寄付	400,000	ぼろにあ祭参加費	90,000
月会50周年記念寄付	400,000	卒業生記念品費	80,000
		新入生記念品	80,000
		跡田園調布寄付	50,000
		ホームページ作成費	200,000
		予備費	50,000
今年度収入計	3,400,915	今年度支出計	3,720,000
		次年度繰越金	1,820,000
合計	5,540,000	合計	5,540,000

平成十二年度分の月日会収支は 致しましたのでご報告申し上げま **会計報告**

平成十二年度分の月日会収支は表記の通り決算致しましたのでご報告申し上げます。

平成十二年の度会計報告について適法かつ妥当であることを認めます。
あらためて次回総会で報告いたしますが、先に会報でお知らせしておきます。

会計監査

バスツアーーが行なわれました。清流会は田高PTAのOB会です。月日会からは千本、熊谷小西の三名が参加しました。今回は手作りソーセージ体験と造見学という内容で、楽しい日を過ごしました。特に手作りソーセージは最初躊躇しながらだつたのが、時間がたつと力強く練つておいしいソーセージを作ることが出来ました。こうした親睦がこれからも続けていくようになります。

大森高校同窓会

◆大森高校同窓会

A black and white group photograph of approximately 25 people, mostly men, gathered on a set of outdoor stone steps. In the center foreground, a man in a dark suit and glasses holds a rectangular wooden plaque with the characters '清流会' (Qinglou Society) carved into it. Behind him, the group is arranged in several rows, filling the frame. The background shows a building with large windows and trees.

◆南高校同窓会事情

進路状況

49期生の4年制大学進学先

() 指定校推薦、[] 公募(一般・OA) 推薦での内数

電気通信	1	自白	2 [2]	大妻女子	1 [1]
恵泉女学園	1	はこだて未来	1	立教	2 [2]
文教	1 [1]	昭和女子	1	北里	2 [1]
北海学園	1 [1]	東京電機	1	関東学院	6 (2)
大正	2 [1]	成城	1 (1)	千葉商科	1
明治学院	6 (2)	青山学院	2 (1)	中央	1 (1)
多摩	1	工学院	2 (1)	東洋英和	1 (1)
東京工科	1	神奈川	5 (2)	明治	2 (1)
東京家政	1 (1)	東洋	1	桜美林	2
武蔵野女子	1 (1)	文京女子	1	武蔵	3 (2)
東京経済	2	武蔵野音楽	1	駒沢	1
武蔵工業	3 (2)	國學院	2	聖徳	1
帝京科学	1	法政	3 (1)	日本女子体育	2
ものづくり	1	明海	1	東海	3
和光	2	横浜商科	1	獨協	1
日本	3	学習院	1	杏林	1
玉川	1	芝浦工業	1	桐蔭横浜	1
成蹊	1	鶴見	1	文化女子	1

皆様からのご連絡を!

ほんにあ祭に参加

初音みね子(旧姓成川)

(14期生)

もう三十数年もこの名称が受け継がれているのかと思うと感慨深いものがあります。

(土) ほんにあ祭が開催されました。例年同様月日会では、小会議室での展示と「ふれあいバザー」への参加をしました。小会議室の展示では、「田高五十一年の歩み写真展」「ハートで校章を作ろう!」を開催。見学の方々に一cm四方の紙でハートを折つて頂き約100枚のハートを台紙に貼つて校章を完成させました。沢山の方々に参加協力していただきました。

ふれあいバザーでは、大田市場直送の松茸・梨・栗等の販売もあり大盛況でした。今回の売上は、一八四、三七六円でした。

バザーの売上は大田区福祉課・三宅島災害に寄付、周年行事への積み立てに当てられました。

今年もほんにあ祭・ふれあいバ

ザーが九月二二日(土)二三日(日)に開催されます。例年同様、献品を月日会までお送りください。ご協力宜しくお願ひ致

します。ほんにあ祭の名称は、私の在

上は、「ほんにあ祭」です。

私は田高を卒業した後、一年

制の専門学校へ進学し、四月から事務の仕事に就きました。学

校にいる間は、知識と団体生活に慣れる事を学び、社会にいる

己の責任の重大なことを学んでいます。田高で得た最高のもの

は友人なので、この関係を大切に仕事に励みたいと思います。

今は、仕事のつらさと喜び、自

校にいる間は、知識と団体生活に慣れる事を学び、社会にいる

己の責任の重大なことを学んで

います。田高で得た最高のもの

は友人なので、この関係を大切に仕事に励みたいと思います。

田高を卒業してみて

僕自身、田高での思い出は死ぬ程たくさんあります。生徒会活動、バンド活動、矢口子クラブ、F崎先生の命懸けの授業等々語り出したらきりがあります。しかし、それも全て周りの仲間や先生方との触れ合いの中で初めてできた思い出です。

この先、後輩達にも田高で最高

せん。しかし、それも全て周りの仲間や先生方との触れ合いの中で初めてできた思い出です。

僕自身、田高での思い出は死ぬ程たくさんあります。生徒会活動、バンド活動、矢口子クラブ、F崎先生の命懸けの授業等々語り出したらきりがあります。

僕自身、田高での思い出は死ぬ程たくさんあります。生徒会活動、バンド活動、矢口子クラブ、F崎先生の命懸けの授業等々語り出したらきりがあります。

僕自身、田高での思い出は死ぬ程たくさんあります。生徒会活動、バンド活動、矢口子クラブ、F崎先生の命懸けの授業等々語り出したらきりあります。

僕自身、田高での思い出は死ぬ程たくさんあります。生徒会活動、バンド活動、矢口子クラブ、F崎先生の命懸けの授業等々語り出したらきりあります。</